

ART
bee
HIVE

アート ビー ハイヴ

(公財)大田区文化振興協会が2019年秋に創刊した、地域の文化・芸術情報を盛り込んだ季刊情報紙。「BEE HIVE」とは、ハチの巣の意味。公募で集まった区民記者「みつばち隊」と一緒に、アートな情報を集めて皆さまへお届けします！

第23号

発行日
2025年7月1日毎1・4・7・10月初旬
11万部発行
※次号は10月1日発行予定

紙面で紹介しきれなかった
情報をWEB版「+ bee!」で
掲載しています。



公式PRキャラクターズビー

暮らしに寄り添う街だからこそそのアートがある

西蒲田



4



5



6



1



2



3

①ユザワヤ蒲田店 ②HUNCH ③東京アートラボ ④さいとう読書室 ⑤はすぬま温泉 ⑥ギャラリー鴻 (日本工学院専門学校)

生活に密着したアートスポットが数多く揃う街。

大田区を代表する街、蒲田。再開発が進み、行政施設やオフィスビルが並ぶ東口エリアと異なり、西蒲田はいくつもの商店街に買い物が溢れ、なだらかな道が住宅街へと続きます。生活に密着したアートスポットが数多く揃っているのが特長です。

そんな西蒲田を代表するのが、手作りホビー材料の専門店「ユザワヤ」です。一般客はもちろん、プロの作家からも支持されています。気軽に様々な工芸・アートが学べるユザワヤ芸術学院も人気です。

人気の飲食街・バーボンロードの奥に建つのがクリエイターのためのアトリエビル「HUNCH」です。現代アーティストをはじめ、様々なジャンルのクリエイター15組がアトリエを構えています。

「東京アートラボ」はホテルやオフィスビルはもちろん、個人の部屋を彩るディスプレイアートを提案。併設

ギャラリーでは企画展も行なっています。

住宅街におしゃれなアートスポットが突然現れるのも西蒲田の魅力。「さいとう読書室」は、建築家・齊藤良博さんが元国語教師の父親の蔵書を活かすために、実家を改装した私設図書館。閲覧・貸出の他、映画観賞会などの文化イベントを開催しています。

暮らしに身近なアートといえば銭湯のペンキ絵です。「はすぬま温泉」は、当代きっての銭湯絵師・丸山清人さんによる富士山のペンキ絵が飾られています。ステンドグラス越しの光が差すロビーの足元では、デジタルサイネージの鯉が泳ぎます。

日本工学院専門学校内に開設された「ギャラリーこうのとり鴻」は展示総壁面200㎡を誇るギャラリー。同校の学生作品はもちろん、国内外の著名人によるデザイン展や地域イベントなども開催しています。

ユザワヤ蒲田店
大田区西蒲田8-23-5
yuzawaya.co.jp/

HUNCH
大田区西蒲田7-61-13
hunch-label.com/

東京アートラボ
大田区西蒲田5-27-18 蒲田ビル1F
tokyoartlab.com/

さいとう読書室
大田区西蒲田6-6-1 nkt611 1F
saitodokusyositsu.net/

はすぬま温泉
大田区西蒲田6-16-11
hasunuma-onsen.com/

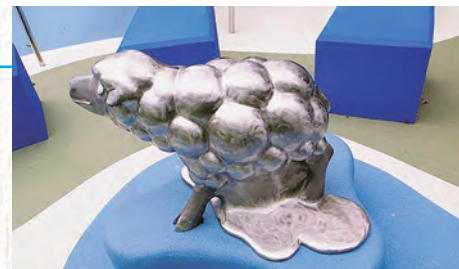
ギャラリー鴻(日本工学院専門学校)
大田区西蒲田5-23-22
neec.ac.jp/kamata/facility/gallery_kou/

4面に「西蒲田アート MAP」を掲載しています。

アートな
人

渡辺元佳

も と か 彫刻家



『ぼたん』(大田区立矢口南児童公園 2009)



様々な機材・工具が並ぶHUNCH内のアトリエにて

©KAZNIKI

「実験施設 ZÓKZÓK」
2025年夏、札幌に誕生。
総合ディレクター・渡辺元佳

アートと遊びを融合させた複合施設として、札幌市内の創生イースト地区にオープン予定。音楽やファッション、演劇など様々なアーティストが集結し、多彩なアートプロジェクトが展開されます。

📍北海道札幌市中央区大通東7-18-1

🏠 zokzok.art

渡辺元佳 Watanabe Motoka

1981年北海道伊達市生まれ。主な作品に宝童稲荷神社参道の『猿結参道』(銀座 2016)、MIYASHITA PARKのボルダリングウォールのシンボルアート『YOUwe.』(渋谷 2020)、高さ5.7mの大型彫刻『Find Our Happiness』(中国中山市 2021)などがある。

🏠 wa-moto.net/ 📱 @wa_moto

余韻や余白を作ること、人と空間を繋ぐ。それがパブリックアート。

西蒲田にあるアトリエビル「HUNCH」を拠点とする彫刻家・渡辺元佳さん。メインテーマは都市空間と人間の関係性。人々が精神的に都市空間とつながる手助けとなるように、公共空間を中心に彫刻作品を発表しています。

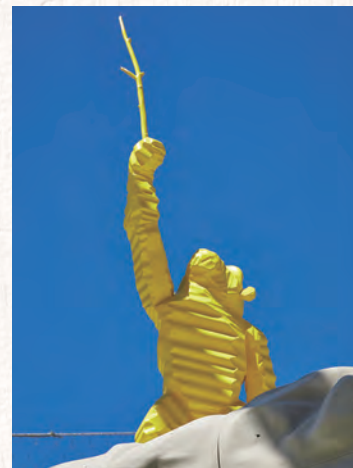
「アート愛好家が、美術館やギャラリーに、好きなアートを見に行くのは素晴らしいことです。しかし、こども時代に美術館に一度も行ったことのない人はたくさんいます。現代社会において、日常生活の中のアートや景観が重要だと思います」と語る渡辺さん。

「東京は清潔で、機能的で、情報の圧力がとても強い。人間にとって都市空間はそれでいいのか、疑問があります。機能性や合理性とは違う、余韻や余白を作ること、人と空間を繋ぐ。それがパブリックアートだと思っています」。

パブリック=公共性とは何かをお聞きすると、「公共の場所があれば、パブリックだというわけではありません。居心地がいいからパブリックな場所になるんです。現状は場所を用意しただけの“パブリック”がとても多い。その場所でどんなことが行われて、どんな人たちが、どんな感情になったらベストなのか、それを思いやることが重要です。それがアートの目線だと思います」。

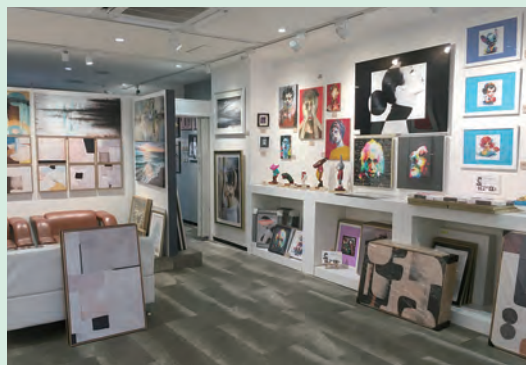
渡辺さんは、大型彫刻を街の中で自由に移動させるプロジェクトを行なっています。「風景がどう変わるかを試してみる。彫刻を移動させることで、街の様々な可能性が見えてくる。いつもとは違う感覚・感情が生まれてきます」。

最後に、こども向けのワークショップについて伺いました。「東日本大震災をきっかけにはじめました。純粋にモノを作る楽しさをこどもたちに体験してもらいたい。一つでも嬉しかったことや上手くいった思い出があれば、辛い時の糧になります。震災が落ち着いてからも、これからの時代を背負っていくこどもたちと関わるのが大事だと思い、今も各地で続けています」。



『YOUwe.』(渋谷 MIYASHITA PARK 2020)
photo by Hiroshi Wada

大田区内の商店街にあるアトスポットやイベントを紹介します。



所狭しと作品が並ぶ店内

「東京アートラボ」

📍大田区西蒲田 5-27-18 蒲田ビル 1F

🚶JR京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」西口 徒歩5分

🕒月～水曜 14:00-18:00 📅木～日曜・祝日

☎03-5703-3360 🏠tokyoartlab.com/

面白いアイデアを出していける
コミュニティのスポットになれたらいい。

昭和の飲食店街を思わせる大城通り沿いにある「東京アートラボ」。2015年オープンのインテリアアートの専門店です。「古典的な画商のイメージは嫌でした。銀座・六本木ではなく、あえて蒲田を選びました。店名はアートの実験的な試みが行われ、新たな可能性が生まれるラボのような空間でありたいという願いからです。」と語る代表の大島洋介さん。「従来はホテル、オフィス、ショップを中心に、空間に調和するアート作品を提供してきました。本年4月からギャラリースペースを「studio144」として改名し、アート作品の展示・販売を行う場としていきます」。

「ジャンルはもちろん、キャリアを含めボーダレスに色んな作家を紹介していきたい」と語るキュレーターの山田幸治さん。「独創性がある

「東京アートラボ」(蒲田西口すずらん通り商店街)



キュレーターの山田さん(左)と代表の大島さん(右)

こと、明確なコンセプトを持っていること、社会とのつながりやメッセージ性があることを基準に選んでいます」。

最後に大島さんに抱負をお聞きしました。「街おこしと言うと大袈裟ですが、アートを媒介に、面白いアイデアを出していけるコミュニティスポットになりたいと思っています」。

やさしい読書室

大城通り商店街と蓮沼熊野神社に挟まれた住宅街に2023年11月にオープンした「さいとう読書室」。全面ガラス戸、コンクリート張りの土間、むき出しの木組みの梁など、モダンでどこか懐かしい私設図書館です。オーナーの齊藤貞博さんと、ご子息で空間デザインを担当した建築家の齊藤良博さんにお話を伺いました。

「父は元々国語の教師でした。僕がこどもの頃から蔵書が凄かった。本当に家が傾くぐらいの本がありました。本はしまっただけではゴミと変わらない(笑)。それでは勿体ない。地元の人に貸し出したり、本を中心に人が集まる場所を作るのがいいと考えました。」と語る良博さん。

名前の由来を伺うと「収容している本の数といい、スペースといい、図書館と名乗るほど立派じゃない。ちょっと恥ずかしいから読書室としました(笑)。あと、江戸時代後期の京都にあった山本読書室*1という漢学と本草学*2の私塾にあやかりました」と貞博さん。

良博(以下敬称略)「山本読書室はただ読書している場所ではなく、人々が集まって、色んなことを研究したり勉強する場所でした。さいとう読書室も展覧会や様々なアートイベントが行われる場所になってほしいと名付けました」。

地元の反響について伺うと、貞博「この辺りも都市化して、ご近所とのお付き合いがほとんどありません。ここを始めたことで、地元とのつながりが出来た感じです」。

今後の展開・展望について伺いました。貞博「現代人はご近所づきあいもなく、ばらばらで孤立化している。ネット空間でも色んなことが出来ると思いますが、さいとう読書室はリアルに人と人が顔を合わせながら活動できる場にしたい。小さいですがここを拠点にして、文化的な営みをしながら、人々が繋がりを持てるようになればいいと思っています」。

*1:儒医山本封山が江戸時代後期に京都に開いた私塾。日本博物学の西日本の拠点だった。

*2:中国古来の植物を中心とする薬物学。日本には平安時代に伝わり、江戸時代に全盛となり、中国本草書の翻訳・解釈にとどまらず、日本に自生する植物・動物などの研究から博物学・物産学を目的とした学問に発展した。

さいとう読書室

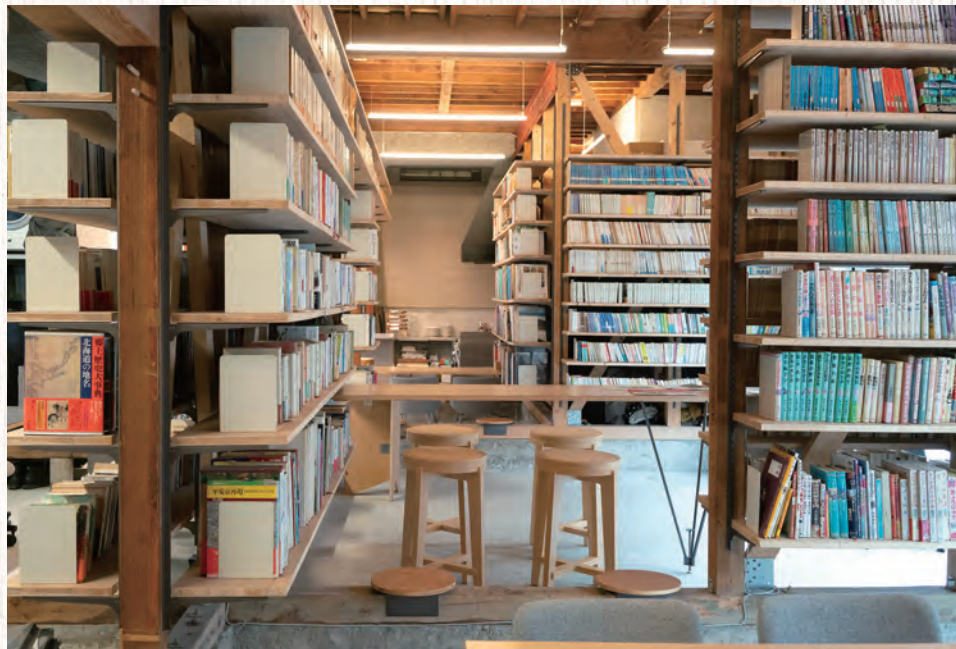
📍 大田区西蒲田 6-6-1 nkt611 1F

🚶 東急池上線「蓮沼駅」徒歩6分

🕒 水・金曜 14:00-18:00 / 土・日曜 10:00-18:00

カフェ: 日曜のみ 11:00-17:00(LO16:30)

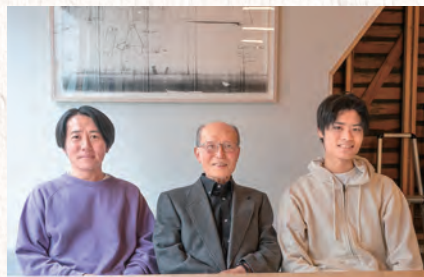
🌿 月・火・木曜 🏠 saitodokusyositsu.net/ 📷 saito_dokusyositsu



モダンでありながら、どこか懐かしい温もりある空間



まるで全面がエントランス、開放的な店構え



左から良博さん、貞博さん、日紀さんの3代で運営



松の木が魅力的なカフェスペース

女塚古墳

📍 大田区西蒲田 6-22-1



西蒲田東部は、以前「女塚村」といいました。その一面に佇む女塚神社の境内には、「女塚」の由来となった塚があります。これにまつわる悲劇をご存知の方も少ないでしょう。

南北朝時代、「矢口の渡し」で憤死した新田義興(1331-58)という武將は、足利氏と対立していました。足利氏の傘下にあった竹沢右京亮は、少将局という女性をスパイとして義興のもとに送り込みます。しかし、少将局は暗殺実行の直前、「凶事の予言」を聞いたとして義興を引き留め、企みは未遂に終わります。この口封じとして少将局は竹沢に殺されてしまい、それを吊ったのが女塚の由来であるというお話です。

「女塚」というと、いかにも女性が関係するかのよう

に思えます。しかし、女塚の周辺には他にも塚が存在していたため「お七塚」を由来とする説もあります。古墳時代の遺跡とされていたが、その後の調査により中世の遺跡と判明しています。

他にも、新田氏の本拠地である上野国(現・群馬県)と関連する可能性があります。新田氏の運営する荘園に、女塚をはじめ、小林や今泉など、現在の大田区矢口周辺と同じ地名がいくつか見られるのです。

女塚神社の北東には奈良・平安時代の遺跡「女塚貝塚」が見つかっています。義興の時代よりも5、600年前には、すでに人々の生活が根付いていたことがわかります。

文: 稲葉実夢(大田区教育委員会 文化財担当)

📍 大田区教育委員会 文化財担当 ☎ 03-3777-1281

西蒲田アートMAP

- ユザワヤ蒲田店
大田区西蒲田8-23-5
JR京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」南口 徒歩1分
03-3734-4141(代表) yuzawaya.co.jp/
- HUNCH
大田区西蒲田7-61-13
hunch-label.com/ ※一般公開はしていません
- 東京アートラボ
大田区西蒲田5-27-18 蒲田ビル1F
JR京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」西口 徒歩5分
03-5703-3360 tokyoartlab.com/
- さいとう読書室
大田区西蒲田6-6-1 nkt611 1F 東急池上線「蓮沼駅」徒歩6分
saitodokusyositsu.net/ [saito_dokusyositsu](https://www.instagram.com/saito_dokusyositsu)
- はすぬま温泉
大田区西蒲田6-16-11 東急池上線「蓮沼駅」徒歩2分
03-3734-0081 hasunuma-onsen.com/
- ギャラリー鴻(日本工学院専門学校)
大田区西蒲田5-23-22
JR京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」西口 徒歩2分
neec.ac.jp/kamata/facility/gallery_kou/



リズビーReport

リズビーが前号で紹介したイベントや場所を訪れます。



ミュージカル舞台『夜明けにコーヒーを』4月17日(木)
舞台が大好きなリズビーは、前号の「アートな人」でご紹介した女優 森莉那さん出演のミュージカルへ。出演者のダイナミックな歌声と表情豊かな演技にすっかり引き込まれ、感動のラストにじんわり温かな気持ちで会場を後にしました。

リズビー公式 ARTbeeHIVE

注目EVENT

私がいろどる私の心～大田区立嶺町小学校6年生図工作品展～

7月23日(水)～8月3日(日) 11:00-18:00



左:制作風景
(大田区立嶺町小学校)
右:井上樹里
『こころの模様』

大田区立嶺町小学校6年生約140名の児童が「こころよう」をテーマに制作した作品を展示する企画。ギャラリーと美術館の違いを教える特別授業を踏まえて、実際にギャラリーでの企画展の流れを体験します。また同校卒業生で主体美術協会、大田区美術家協会などで活躍されている洋画家・井上樹里氏も授業に参加、同テーマによる賛助出品もあります。

📍ギャラリー・フェルテ(大田区下丸子3-27-15-101) **¥**無料 **休**月・火曜
☎03-6715-5535 g-fuerte.com/ [gallery_fuerte](https://www.instagram.com/gallery_fuerte)

世界は音楽でつながっている～アフリカに触れる1日～ こどもも大人もはじめてのアフリカンLIVE

8月9日(土) 17:00

アフリカの楽器が勢揃い! 日本を代表するジャンベ奏者による生ライブ。リズムあり、ダンスあり、歌あり。独特のグルーブを身体で感じてください。
出演:岩原大輔(ジャンベ、ンタマ)、コテツ(ジャンベ、ドゥンドゥン、バラフォン、クリン) ほか

📍大田区民プラザ 小ホール(大田区下丸子3-1-3)
¥全席指定/一般 2,500円、中学生以下 1,000円
※0歳以上入場可能
※2歳以下は1名までひざ上無料。
(席が必要な場合は有料。)
主(公財)大田区文化振興協会
☎03-3750-1555(10:00-19:00) ※プラザ休館日を除く



岩原大輔

📍=場所 / 🚶=アクセス / 🕒=開催時間・営業時間 / 📅=休館日・定休日 / 💲=料金 / 🏠=主催 / 🤝=共催 / 🙋=後援 / 📞=お問い合わせ / ☎=電話番号 / ✉=メール / 🏠=ホームページ

発見! 街角アート

みつばち隊の皆さんが、大田区内の街角で見つけたアートなモノ・バショ・コトを紹介するコーナーです。



〈タイムトラベル〉と〈ひとつ風呂〉
～はすぬま温泉のステンドグラス
みつばち隊: 羽根付きギョウザさん

蒲田駅周辺の喧騒を抜け、池上線蓮沼駅へ向かう辺りが西蒲田。のんびり歩いても20分程度ですが、池上本門寺へと続く情緒ある街並みが現れます。「はすぬま温泉」は、そんな西蒲田のアイコン的な存在です。建物の前に立つと、街灯も少ない路地の一角で、ステンドグラスの光が1日の疲れを取りに来る人々を照らします。なんならいっそ下駄でも履いて行こうかと。少しタイムスリップして、ゆったりした時間を感じることが出来そうです。



非常に珍しい授乳中の狍犬
みつばち隊: 呑川のほとりさん

鵜ノ木八幡神社は、住宅街の中にある小ぢんまりとした神社です。拝殿の前に立つ狍犬は明治24年に奉納され、左右共に親子像。親子の狍犬だけでも珍しいのに、右側はなんと授乳中! 制作したのは石工の高橋磯右衛門。こどもの背中に手を添えて、母親が内に抱えるようにお乳を与えている姿には、狍犬ながら母性を感じます。一方の左側は、口を結んでしっかりと前を見据えていて、こっちは父親かな? なんと想像力を駆り立てる狍犬たちです。



編集後記



みつばち隊: 馬込RINさん

JR 蒲田西口と東急蒲田駅、蓮沼・池上駅近くまで続く西蒲田。実は蒲田のアートスポットとして紹介されるいくつかは、西蒲田にあるのです。駅前の学生街や商店街を離れると住宅地が広がる。多彩な顔を見せてくれる街、西蒲田。



みつばち隊: 山王すばこさん

東京アートラボの店舗裏の搬入口に描かれたウォールアート。周囲の昭和レトロな飲食店街とのギャップがかなりクールで、痺れました。裏道に入るとまた違った魅力のある街「西蒲田」。今後もっと深掘りしたいです。



みつばち隊: 洗足の Missy さん

西蒲田と言えば、母とユザワヤに行き、幼稚園の通園グッズの材料を買いに行ったことを思い出します。たくさんの生地から選び、母が夜な夜な作ってくれた幼稚園バッグを持つことが誇らしかった。そんな自分が今度は我が子に作る番。



みつばち隊: 池上のワンコさん

飲食店が建ち並び、にぎやかな印象の西蒲田には、さまざまな顔があります。駅から少し離れた住宅街の一角にある「さいとう読書室」は、本に囲まれたコンパクトな空間と穏やかな時間を提供してくれる心地よい場所です。



編集長: MOJOさん

かつての自宅を改修した「さいとう読書室」。古家のリユースは「元と同じ用途で使わないことがポイント」とのお話が印象的でした。機能の面で劣る古家も住宅でなく、カフェや仕事場なら転用しやすいそうです。空家対策の解答かも。



みつばち隊: 雪谷のさくらさん

蒲田西口商店街にあったテアトル蒲田が、西蒲田地区では1番の思い出です。幼少期、祖母と通った映画館はいつもここでした。閉館後もその外観は残されており、前を通るたびに懐かしさと温かさが胸に蘇ります。



みつばち隊: 本門寺の青空さん **NEW**

大田区に引っ越してきてあつという間に19年が経ちました。最近では第二の故郷になっていると感じ、郷土愛に目覚めています。区内のあちこちを探索しその魅力と街が宿すアートな力と輝きを読者の皆さまにお届けしたいと思います!



みつばち隊: 黒湯あつしさん **NEW**

4月からみつばち隊に加わりました大田区出身「黒湯あつし」です。昨年卒業した大学では、デザインを専攻していました。区民記者として、文化・芸術活動の情報を明快かつ魅力的にお伝えできるよう力を尽くしていきます。



みつばち隊: 山王の坂好きさん **NEW**

新たにみつばち隊に参加します名前通りの坂好きです。大田区の街並みとアートに惹かれ、日々歩き回っています。エリアごとの個性も豊かな大田区の魅力を、たくさん見つけてシェアしていきたいです!

発行: 公益財団法人 大田区文化振興協会

〒146-0092 東京都大田区下丸子3-1-3 大田区民プラザ

☎03-3750-1614(月～金 9:00-17:00) ✉art-bee-hive@ota-bunka.or.jp

🏠ota-bunka.or.jp/ [ota_bunka](https://twitter.com/ota_bunka) [otabunkaart](https://www.facebook.com/otabunkaart)

📺 大田区文化振興協会チャンネル 大田区文化振興協会 編集・デザイン: MOJOWORK

ART bee HIVEの
詳しい情報はこちら



大田区のアートな情報募集中!

情報をお寄せくださった方には抽選で、情報紙
ART bee HIVEの公式PRキャラクターリズビー
& 大田区の公式 PR キャラクターはねびよんの
限定コラボグッズをプレゼント!



応募はこちらから!



この情報誌には印刷
インキ工業連合会認
定の植物インキを主
に使用しています。